

コンピュータ検索で必要な本を探してみよう

1 目標

コンピュータによる蔵書検索機能を活用して、必要な資料を探すことができる。

2 実施学年 中学1年生 40名

3 準備するもの

インターネットとつながるパソコンまたはタブレット（各自1台）

4 展開

時配	学 習 活 動	具体的な内容	備 考
5 20	<p>1 ≪県立図書館を使う方法≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付した県立図書館の利用案内を見る ・千葉県立図書館のホームページを見る ・県立図書館の資料を検索するページ <p>2 ≪図書館にある本の探し方≫</p> <p>コンピュータ検索の方法を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード検索（検索窓1つ） ・詳細検索（組み合わせ検索） 	<ul style="list-style-type: none"> ○県立図書館の利用（直接来館や近隣図書館を通じて借りる）方法について説明。 ○図書館に行く前に、本の所蔵の有無がわかり、必要に応じて予約することができる。 ○千葉県内の市町村立図書館の所蔵状況について検索することができる。 ○1つのキーワードで検索する。 本の書名や著者名などキーワードになっている言葉から本の探し方を知る。 例) 「芥川賞」「宇宙」「馬場のぼる」等 ○キーワードを組み合わせで検索をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・書名の一部と著者名 例) 書名の一部「宇宙」 著者名「若田光一」 ・書名の一部と出版者名 など 例) 書名の一部「福祉」 出版者名「保育社」 ○本の情報は「奥付」を元に書かれている。 「奥付」の位置や書かれている内容について確認し、検索するとき以外にも「奥付」の情報を確認するとレポートを書くときなどに役に立つことを知る。 	<p>タブレット (各自1台)</p>

20	<p>・件名を使って探す・絞り込み</p> <p>3 端末を使って検索する</p>	<p>○「件名」とは、本のテーマを表現するキーワードのことであり、同じテーマの資料を探したいときに役に立つ。書名に調べたいテーマの言葉（件名）が入っていない本も検索する場合や時代によって言葉が変わるテーマを追うのに便利である。</p> <p>例) 「麻薬」「新型コロナウイルス感染症」</p> <p>○好きなテーマを決めて「件名」と「書名」で検索し、その違いについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果の違いについて話し合う。 ・「件名」検索をすれば自分のテーマに合った資料を絞りやすい。 <p>(「書名」検索では、テーマ(件名)が言葉として書名に含まれていれば検索することができるが、関係のない本もヒットしてしまう。反対に、書名に含まれていなければ検索することができない。)</p> <p>○書誌詳細を確認することでその本の内容やその本の「件名」を知ることができ、自分の探しているテーマの本に絞ることができる。</p> <p>○探している本が見つからない場合は「件名」のキーワードを少し広域的なものに変えて検索してみる。</p> <p>○自分のテーマに合っていそうな本が見つかったら、実際にその本の中に必要な内容が書かれているか確認する。</p>	
5	<p>4 《おわりに》</p>	<p>○思うように本が見つからない時は、図書館の人に相談すると希望している内容の本と一緒に探してくれることを知る。</p> <p>(レファレンスサービス)</p> <p>○1冊の本を見つけたときは、その本があった棚の周りにも同じテーマの本を見つけることができることを知る。</p> <p>○千葉県内図書館横断検索を紹介し、近くの図書館に所蔵していない本を他の図書館から取り寄せて利用できることを知る。</p>	